学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	生活の中の書	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書に興味を持ち、書くこと・表現することが楽しいことを学ぶ。日常生活の中に書があることで穏やかに潤えることを体得する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。
・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。

【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え書の美を味わい深く捉えたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】
書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて、書の創造的活動を通して理解を深める。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的、創造的に表現するために必要な技能を身につけ、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	書の伝統と文化に豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字	五書体を学ぶ ・篆、隷、草、行、楷 うちわに創作 ・夏をテーマに感じで表現	a:漢字に五書体があることを理解している、 b:五書体の好きな書体を見つけ表現している。 c:主体的に課題に取り組んでいる。	プリント	作品	鑑賞 発言
後期	漢字仮名まじり	相田みつをの詩を学ぶ ・紙の大きさ筆の違いを体感 画仙紙に創作 ・自分の好きな言葉を表現	a:現代詩の表現を理解している。 漢字仮名まじりで創作している。 b:表現方法を体感している。 c:主体的に課題に取り組んでいる。	プリント 作品	作品	鑑賞 発言
		五つのテーマに沿って作品作り ・干支 ・漢字のみ ・ひらがなのみ ・漢字仮名まじり ・自由	a:五つのテーマで表現することができている。 b:自分で言葉を選び表現している。 様々な表現の仕方を工夫している。 c:主体的に課題に取り組んでいる。	プリント 作品	作品	鑑賞 発言
		紙漉きをする(葉書大) ・紙パックから新しく紙作り 出来上がった紙に五つのテーマを作品にする	a:紙漉きの工程を理解している c:みんなで協力して紙漉きに取り組む	プリント		取り組む姿勢 発言
		けしごむ印を刻す ・ひらがなで印を作る (朱文と白文) ・紙漉き作品に押印 ・学に入れて展示	a:書作品における印の意味を理解している。朱文と白文を理解し刻す。 b:葉書きへ押印するための印を工夫し制作している。 c: 主体的に課題に取り組んでいる。	プリント	作品	鑑賞 発言
	仮名	仮名の基礎 行書き、散らし書き、墨継ぎ 短歌を書く	a:いろは、変体仮名、連綿を理解している。 b:行書きと散らし書きで表現している。 c:主体的に課題に取り組んでいる。	プリント	作品	鑑賞 発言

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度